

特別支援学校(知的障害)と小学校との「交流及び共同学習」

<実践の概要>

学 年	特別支援学校	小学校
	小学部3年	特別支援学級
交流学习の時間	10時45分から11時30分	
教科・領域等	外国語活動	外国語・外国語活動
実施時期	11月上旬	
単元／題材名 「 英語に親しもう 」		
主 な 活 動 内 容		
<p>① 英語で自己紹介をしよう</p> <p>一人ずつみんなの前に立ち、英語で自己紹介をした。</p> <p>本児の席を学級の中央辺りに準備していただき、友達の様子を見ながら取り組めるようにした。</p> <p>「自分の名前、好きなもの」を英語で話した。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> </div>	<p>② シーバスケット(フルーツバスケットの海バージョン)をしよう。</p> <p>三つの海の生き物のグループを作り、シーバスケットのゲームを行った。グループ名、掛け声等は全て英語で行った。</p>	

<実践の成果と課題>

<成果>

- ・本児も受入校の児童も「英語」という新しい学習に取り組むことで、自然に助け合いながら一緒に楽しんで学習に取り組むことができた。
- ・本児は、海の生き物が大好きなので、その好きな物を題材としたゲームを取り入れることで、本児が緊張せずに楽しく取り組む姿が見られた。
- ・ゲームの中で、お互いに声を掛け合う場面やハイタッチをする場面を設けることで、受入校の児童と自然な関わりを持つことができた。

<これまでの効果的な取組や実践エピソード等>

- ・事前に英語でどのように自己紹介をするのか、ゲームの内容をどうするのかなど担当の先生と細かく打合わせを行い、イラスト入りの予定表を持参したので、当日は見通しをもって落ち着いて活動することができた。
- ・昨年度も同じ学級で居住地校学習を行っているので、お互いに一緒に活動することを楽しみにしており、始めから温かい雰囲気で行うことができた。
- ・交流学习が終わって支援学校に戻ったときに、本児から「次いつ行く？」と質問があった。「4年生になったらね。」と担任が答えると「4年生のいつ？」と聞き返す姿が見られた。交流を楽しみにしていることが伝わってきた。また、受入校の教員からも、「来年度は〇〇の学習をしてみたいね。」と前向きな言葉をいただいた。
- ・学習の様子を参観した本児の保護者が、帰り際に「友達や先生方の関わりに心が洗われた。」と話していた。